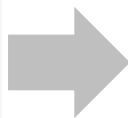


那珂市アグリビジネス戦略(概要版)

計画策定の背景と目的

- ◆ 「第2期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「農業で稼ぐ いい那珂プロジェクト」を立ち上げ
- ◆ 「那珂市アグリビジネス戦略は」、本プロジェクトを具体的に実践するために策定



農業で稼ぐ
いい那珂プロジェクト

具体化

那珂市アグリビジネス戦略
2021～2025

- 農業の収益力向上
- 担い手の育成

基本方針

- ◆ 意欲ある生産者を集中的に支援して儲かる農業を実現
- ◆ 魅力ある農業で後継者や新規就農者を惹きつける
- ◆ 農業を通じた関係人口づくりと合わせて那珂農業を未来へつなぐ

スローガン

未来へつなぐ 作る喜び食べる喜び いい那珂農業
～儲かる農業へのチャレンジで豊かないい那珂暮らしを実現～



生産者同士が
つながる



生産者と消費者が
つながる



新たな担い手と
つながる



未来の担い手に
つなぐ

「農業で稼ぐ」「いい那珂プロジェクト

基本
目標

1 農業の収益力向上

2 担い手の育成支援

1) 生産性の向上促進

- ① 経営規模の拡大促進

2) 付加価値の向上促進

- ① 那珂野菜の品質向上
- ② ブランド化の推進
- ③ 6次産業化の推進
- ④ 一次加工の推進

3) 地産地消の推進

- ① 学校給食への利用拡大
- ② 直売所の利用促進
- ③ 原材料の安定生産と実需者との連携支援

4) 地産外商の推進

- ① 実需者（飲食店・ホテル等）への販売拡大
- ② 新しい流通手段の活用促進
- ③ 東京圏等への直売の推進

1) 農業後継・新規就農への支援

- ① 農業知識・技術習得支援
- ② 第三者継承の支援
- ③ 農地・農家住宅の取得支援
- ④ 農地・農機具バンク機能の提供
- ⑤ 新規就農希望者への包括支援

2) 「農業関係人口」づくりの推進

- ① 情報発信・相談対応の充実
- ② 農業を体験する機会の充実
- ③ 農業や食品化学、調理を学ぶ学校との連携

横断
的な
目標

3 ICT・IoTの活用推進

①生産者と消費者をつなぐ仕組みづくり

②スマート農業へのチャレンジ

関連するSDGs

2 飢餓を
ゼロに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



施策の内容

基本目標1. 農業の収益力向上

1)生産性の向上促進

①経営規模の拡大促進

- 農地集約などによる生産能力の拡大促進

2)付加価値の向上促進

①那珂野菜の品質向上

- セミナーや実技講習の実施、参加支援

②ブランド化の推進

- 通年でかぼちゃが収穫できる産地づくり
- 戦略的に特産品としていく作物の検討、品質の見える化
- 農業人(団体)のブランド化、指名買いの促進
- いい那珂マルシェ、マッチングフェア、イベントでのPR

③6次産業化の推進

- 市内外の多様な資源を活用した「売れる商品」の開発

④一次加工の推進

- ニーズのある「かぼちゃペースト」などの製造支援

3)地産地消の推進

①学校給食への利用拡大

- 地場産会議による納入計画に基づいた生産と納入

②直売所の利用促進

- 旬の野菜の食べ方の提案、特産品(加工品含む)の活用

③原料の安定生産と実需者との連携支援

- 6次産業化商品の原料生産促進と加工販売業者とのマッチング
- OEM生産による商品開発及び農産物の需要拡大

4)地産外商の推進

①実需者(飲食店・ホテル)への販売拡大

- 近隣市町村の飲食店やホテル等とのマッチング
- 米、野菜、肉など、「オール那珂」で何でも揃うことをPR

②新しい流通手段の活用促進

- 「やさいバス」の効果的な活用についての情報提供

③東京圏等への直売の推進

- 地域おこし協力隊と連携したテストマーケティングの推進



施策の内容

基本目標2. 担い手の育成支援

1) 農業後継・新規就農への支援

① 農業知識・技術取得支援

- 先進農家による親元就農者や新規就農希望者への研修

② 第三者継承の支援

- 後継者不在の生産者と新規就農希望者とのマッチング
- 定着までの生活支援、農地転貸手続き支援

③ 農地・農家住宅の取得支援

- 農地や農家住宅の取得要件緩和等の検討

④ 農地・農機具バンク機能の提供

- 貸出可能な農地や農機具の情報収集、貸出の仲介

⑤ 新規就農希望者への包括支援

- 庁内関係各課や市民と連携した地域定着支援



2) 「農業関係人口」づくりの推進

① 情報発信・相談対応の充実

- 移住セミナーにおける情報提供、相談対応強化
- SNS等のインターネットを活用したPR

② 農業を体験する機会の充実

- 農業体験ツアー、短期アルバイトなどの提供

③ 農業や食品化学、調理を学ぶ学校との連携

- 生産販売、成分分析、加工等における若い力の活用



横断的な目標. ICT・IoTの活用推進

① 生産者と消費者をつなぐ仕組みづくり

- 出荷予定や販売状況等の情報連携、販売管理システムの構築
- システム運用により蓄積したデータの分析と活用

② スマート農業へのチャレンジ

- IoT等の活用による生産性・収益性の向上促進

目標指標

指標	現状値		目標値	
事業実施による売上高	2018年	3億3,000万円	2020-2024年	3億5,000万円
新規就農・認定農業者数	2018年	89人	2020-2024年	100人